

門林 美笛さん（鳥取県米子市出身）
2017年度3次隊 シニア海外協力隊
派遣国：ブラジル 職種：高齢者介護
2019年6月2日（日）中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

日系高齢者の健康増進

ブラジル南部に位置し、日系人がブラジル国内で2番目に多く暮らすパラナ州。その日系人団体に高齢者介護という職種で配属され、州内にある傘下団体を巡回している。

80、90歳代の移民1世、2世の高齢者には、日本で母語が確立してからブラジルに来た人や、幼い頃にブラジルに来たがポルトガル語を学ぶ機会がなかった人もいる。そのため、今でも日本語で生活している人が少なくない。幼い頃に覚えた童謡や唱歌を今も口ずさみ、演歌や盆踊り、川柳や俳句、日舞、生け花など日本文化を新たに学んで趣味として楽しんでいる。



キャプション：
日系団体が主催した集まりで一緒に体操をする日系高齢者たち

このような方々に食事に呼ばれると、巻きずし、おこわ、赤飯、煮しめ、自家製の納豆、豆腐などの日本食が並ぶ。日本よりも日本らしいとすら感じる。当たり前のように「この曲歌えるでしょう」「この踊り知ってるよね」と話し掛けられ、「知りません」と答えることが申し訳なく感じてしまう。

そして日本の高齢者と同じく、健康を維持増進するための情報に関心が高い。巡回先では日本での介護予防の取り組み、特に運動や食事に関する話、アクティビティーの要望が多い。これらの活動を通じ、想像を超えるような波乱の人生を歩んで来た日系高齢者の皆さんに、老後を穏やかに最後まで自分が望むような生活をしていただきたい。少しでもそのお手伝いができたらと思う。